

障がい者を受け入れるには、現場の理解が必要不可欠です。ジョブコーチのアドバイスを受け、すぐにスタッフを集めた勉強会を実施。「どのような障がいなのか」「できることできないこと」を丁寧に説明し、理解を求めました。「支配人として、スタッフに不満が生まれることは絶対に避けられた。だから、好意的に受け入れてくれた時はホッとしました。」

次に着手したのが木本さんに任せる仕事

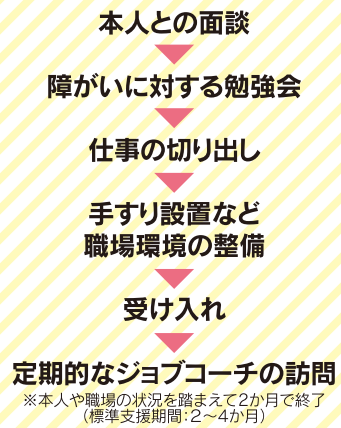
必要不可欠な人材に

少しの不安を抱きつつ、木本さんを受け入れた花べつぷ。しかし、受け入れ後は驚くほどスムーズだったといえます。「とにかく本人の頑張りがすごかった。慣れない仕事にひたむきに取り組む、嫌な顔ひとつしない。質問も多く、仕事に対する熱意が伝わってきました。」当然、できることもどんどん増えていきました。おしほりを巻く、お品書

現場の理解と仕事の切り出し

た「そつ話すのは支配人の荒木さん。まずは大分障害者職業センターのジョブコーチに相談するところから始めたといえます。」

木本さん受け入れの流れ



▲スタッフが出入りする裏口には階段があるため、木本さん復帰前に手すりを設置。

の切り出し。「スタッフの仕事を細かいことまで全て洗い出し、木本さんに何が任せられるのかを話し合いました。実際に、1日のタイムスケジュールを組んでみて、これだと時間が余るかな、でもこれは難しいかなって。悩みましたが、ジョブコーチのサポートが心強かったです。その間に、脚の悪い木本さんのために階段に手すりをつける等、職場環境も工夫し、少しずつ受け入れ体制が整っていきました。」

きを折るといった簡単な作業からスタートして、2年経つた今ではパソコンを使った複雑な予約受付や、元料理人の知識を生かした調理場とのやり取り、売店での接客等、幅広い業務を高いレベルでこなしています。「木本さんは間違いなく必要不可欠な人材。スタッフにも頼りにされています。いる日、いない日で忙しさが違いますから」。最後に、「受け入れが決まった後、木本さんに泣きながらお礼をいわれたこと、スタッフみんなで頑張ろう！と話し合っただけで昨日のことのように思い出されます」と涙ぐんだ荒木さん。初めての障がい者雇用を経て、必要不可欠な人材と、何ものにも代えがたい「絆」を手に入れたようです。



**木本さんは
かけがえのない仲間**

料理人だった頃の木本さんは他のスタッフとの関わりが少なかったこともあって、「寡黙」、「職人気質」といった印象を持たれていました。しかし、復帰後は仕事を教わるために積極的に周囲とコミュニケーションを取るようになったため、「こんなに楽しい人だったんだ」と驚く人が多かったそうです。フロント係の岡留さんも「真面目で、一生懸命。どんな仕事を頼んでも“できませ



仕事の合間の「ちょこっと」談笑

ん」といわず快く引き受けてくれます。本当に頼れる存在です。あと、しゃべるととっても面白いんですよ。結構歳が離れているんですが、全然それを感じません」と親しみを込めて話します。30年以上続けた調理の仕事を手を離れ、全く新しい世界へ足を踏み入れた木本さん。戸惑いもあったといいますが、たくさんの仲間と囲まれ、生き生きと働いています。



**別府温泉 - 竹と椿のお宿 -
花べつぷ**

Corporate data

〒874-0908
別府市上田の湯町
16-50
TEL.0977-22-0049

**戸惑いながら取り組んだ
はじめての障がい者雇用**

別府市にある花べつぷは女性を中心に高い人気を誇る宿。真心のこもったおもてなしや、美人の湯、地元の食材をふんだんに使ったお料理等が幅広い世代に愛されています。

そんな花べつぷが障がい者雇用に踏み切ったのは2年前。料理人として働いていた木本さんが脚に障がいを負ったことがきっかけでした。「治療のために1年ほど休業した後、復帰したいと相談がありました。面談を重ね受け入れを決めたものの、脚の障がいですから立ち仕事中心の調理場での復帰は難しく。じゃあ、どんな仕事が任せられるんだらうって。障がい者雇用は初めてでしたから、正直、最初は戸惑いまし



▲支配人 荒木佐和子さん

受け入れてくれたことに、
感謝しがありません



さつこ：。感謝しかありません。
30年以上調理の仕事をしていたので、新しい仕事に慣れるのは大変でした。でもやるしかない。復帰までにパソコンを覚え、任されたことは全力で取り組みました。会社や同僚のサポート、ちよつとした気遣いが本当にありがたかったです。今まで直接触れ合うことのなかったお客様からの「ありがと」という言葉、障がいを負った私を特別扱いせず見守ってくれた両親の存在にも励まされました。今後はもっと勉強して、エージェントとのやり取りや、プラン作成などワンランク上の仕事にも挑戦してみたいと思っています。



▲一から覚えたパソコンも今ではスムーズに使いこなしています。

見守り、受け止めるのが私たちの役目です。

過保護は本人のためにならないんじゃないかな。基本的には本人に任せる。本当に困ったときに受け止めてあげられる存在でいたいと思っています。

木本さんの担当業務

- 予約受付
- 電話対応
- 仕入れ伝票の入力
- 売店での接客など

花べつぶで調理の仕事をしていた時に脚の状態が悪くなり、1年ほど休業。その後、治る気配がなかったため、ハローワークと支援機関に相談し、障がい者として復帰したいと伝えました。正直、受け入れてもらえるか不安でした。でも、本当に真摯に対応してくだ

された両親の存在にも励まされました。今後はもっと勉強して、エージェントとのやり取りや、プラン作成などワンランク上の仕事にも挑戦してみたいと思っています。



▲木本さんのご両親



子ども達に心豊かに、自分らしく生きる未来を
大分県立日田支援学校

学校・家庭・地域が連携

日田支援学校には主に知的障がいの生徒が在籍。小学部21名、中学部25名、高等部24名と人数が少ない分、一人一人に合わせた細やかな指導を行っています。「保護者、地域の関係機関の方々と交え、生徒ごとに将来を見据えた話し合いを段階的に行っています。就労や自立を目指す生徒のためにも現場実習先の事業所との信頼関係の構築も欠かせません」校長・藤澤さん。そうして集まった情報は可能な限り小・中・高、学年関係なく全職員で共有。一貫した進路指導の体制を築いています。

**適性を見極めた上で
就労を支援**

現場実習に臨む際に活用しているのが独自の就労チェックリスト。担任、本人、保護者がそれぞれ生活・対人・就労に関する同じ項目を評価し、その結果をレダーチャートにすることで、認識のズレ



▲校長 藤澤一郎さん(右)、進路主任 小原貴敬さん(左)

を洗い出し、自己理解を深めることができると思います。「本人が卒業後すぐに一般就労したいと希望してもスキルが到達していない場合には、3年後、5年後の就労を目指そうと提案することもあります」進路主任・小原さん。能力や適性を見極めが、離職率の低さにつながっています。最後に、「生徒にも働く楽しさや、やりがいを伝えたい」「学校見学に来ると障がい者に対する認識が覆る方が多い。特に企業の人事担当者にはぜひ一度直接生徒を見てほしい」と熱く語ったお二人。12月にはワーキングフェアも計画しているとのこと。随時対応しているのですが、まずは一度見学してみてください。

を洗い出し、自己理解を深めることができると思います。「本人が卒業後すぐに一般就労したいと希望してもスキルが到達していない場合には、3年後、5年後の就労を目指そうと提案することもあります」進路主任・小原さん。能力や適性を見極めが、離職率の低さにつながっています。最後に、「生徒にも働く楽しさや、やりがいを伝えたい」「学校見学に来ると障がい者に対する認識が覆る方が多い。特に企業の人事担当者にはぜひ一度直接生徒を見てほしい」と熱く語ったお二人。12月にはワーキングフェアも計画しているとのこと。随時対応しているのですが、まずは一度見学してみてください。



▲現場実習の様子。実習終了後は職業の授業で、成果や課題を話し合います。現場実習以外にも、特産物である梨の栽培作業に年間を通して関わるなど、地域との関わりを経て、生徒たちは大きな成長を遂げます。



▲就労チェックリストとレダーチャート。実習に臨む前に分析結果を確認し、自己理解を深めることで「前はこうだったので、今回はここに注意しよう」等、具体的な目標を立てることができます。

**高等部の
進路指導**

**学年別に
細やかに対応**

1年生

■支援者ミーティング
学校・本人・保護者・関係機関の支援員等が集まり、将来の夢や希望を基に、つけたい力や手立てを検討
■実習1回(5日間)
通勤や作業を通して、卒業後の生活や働くことについて知る

2年生

■進路面談
学校・本人・保護者・相談支援専門員で達成状況や課題を共有し、将来に向けて検討
■実習2回(計20日間)
卒業後の生活を見据えて実施し、課題を明確にする

3年生

■進路面談
卒業後の生活と就労について具体的に検討
■支援会議
学校・ハローワーク・なかぼつ(P9参照)・自治体の福祉課・相談支援事業所・就労移行支援事業所・高等技術専門学校等、様々な関連機関の担当者が集まり、一人一人の卒業後の進路について検討
■実習2回(計25日間)
就労決定に向けてより実践的な実習を実施

〒877-1352
日田市大字西有田2941番地の1
TEL.0973-24-2000



大分県の障がい者雇用の現状

大分県の民間企業の雇用状況(令和3年6月1日)
雇用障がい者数は27.5人増加、実雇用率は0.04ポイント増加(前年度比)
●雇用障がい者数3,369.5人
(身体障がい者2,212人、知的障がい者721人、精神障がい者436.5人)
●実雇用率2.59%(全国第7位)
●法定雇用率達成企業割合61.2%

(参考)全国の民間企業の雇用状況
障がい者数、実雇用率ともに過去最高を更新
●雇用障がい者数59.8万人
(身体障がい者35.9万人、知的障がい者14.1万人、精神障がい者9.8万人)
●実雇用率2.20%
●法定雇用率達成企業割合47.0%

